

小欲知足

世界で一番貧しい大統領と呼ばれたウルグアイのホセ・ムヒカ前大統領が、ある国際会議のスピーチで

「貧乏な人とは、少ししか物を持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と語りました。全くその通りだと思います。経済的な成功ばかりを追い求め、どん欲に自分の利益だけを求める人々を見るとそのように見えるのでしょう。

人の欲は際限がなく、もっと欲しい、もっと欲しいとなるのが人間の業です。いくら求めても満足しない心こそが貧しいのです。本当の豊かさとは足ることを知り、強く欲しない心を持つこと。

奪い合うといつも足りませんが、分け合うとあまるのです。

《安全、安心の仲間づくり》